

板橋区
障がい福祉に関する区民意向調査
調査結果報告書（概要・暫定版）

平成 29 年 9 月

板 橋 区

I 調査の概要

1 調査の目的

障がい福祉計画（第5期）・障がい児福祉計画（第1期）の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

板橋区在住の障がい者、障がい児の方を中心に、区民の方を無作為抽出

3 調査期間

平成29年8月7日から平成29年8月21日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況（平成29年8月31日現在）

	配布数	有効回答数	有効回答率
身体障がい者	1,200通	477通	39.8%
知的障がい者	900通	296通	32.8%
精神障がい者	1,200通	420通	35.0%
難病患者	800通	381通	47.6%
身体障がい児	400通	148通	37.0%
知的障がい児	300通	119通	39.6%
精神障がい児	100通	34通	34.0%
一般	1,000通	285通	28.5%

※これらのほかに、手帳を所持しない幼児（児童発達支援事業者利用者）に100通送付しましたが、まだ集計中です。

6 調査結果の表示方法

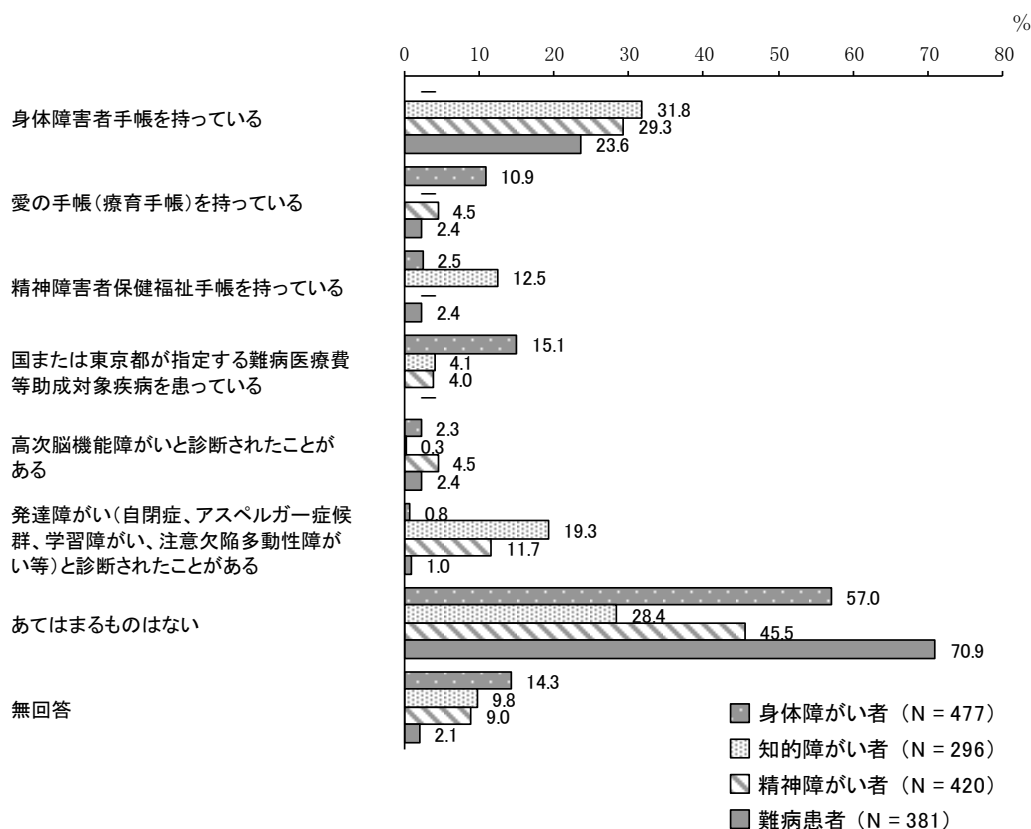
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

II 調査結果

問 障がいの重複状況について、次のうち、あてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

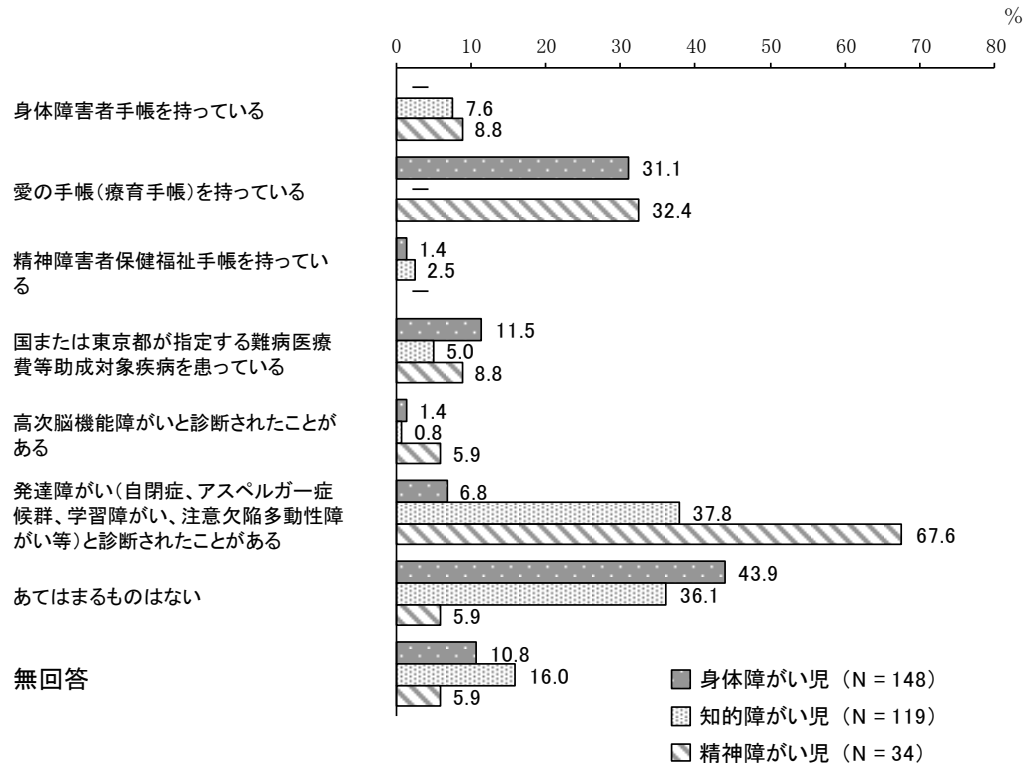
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者で「国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」の割合が高くなっています。また、知的障がい者、精神障がい者、難病患者で「身体障害者手帳を持っている」の割合が高くなっています。



【障がい児】

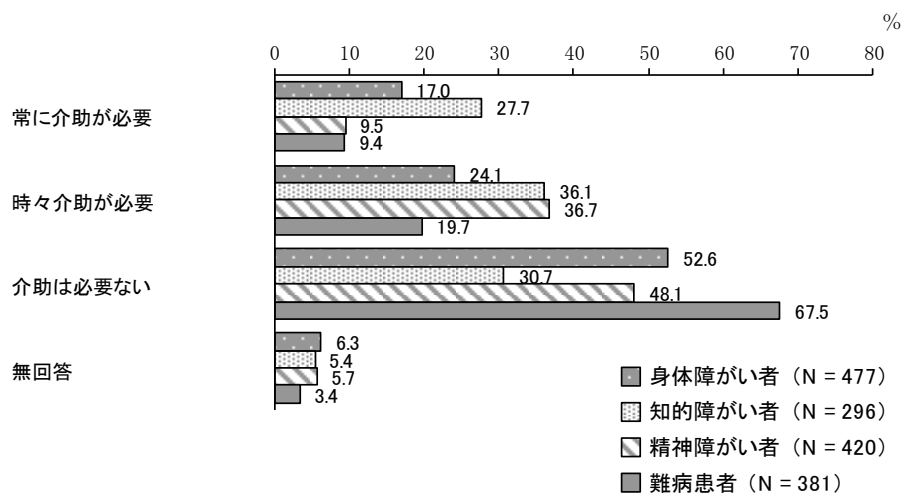
障がい種別でみると、身体障がい児で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」の割合が高くなっています。また、知的障がい児、精神障がい児で「発達障がい（自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等）と診断されたことがある」の割合が高くなっています。



問 ふだん、あなたは日常生活で介助・援助が必要ですか。(○は1つ)

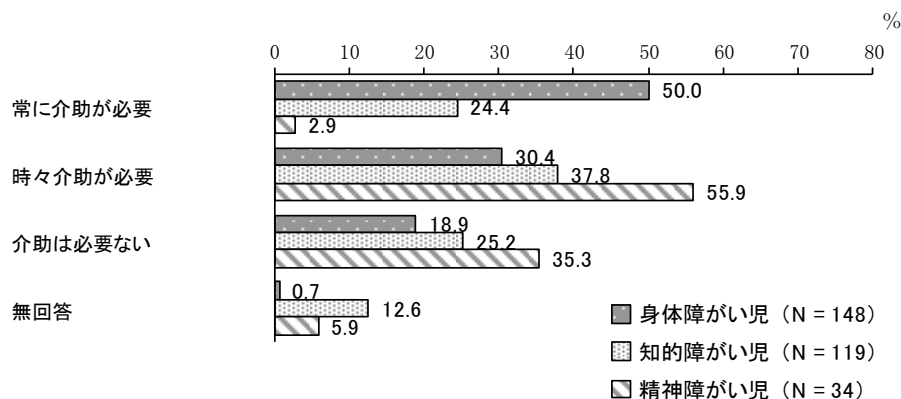
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、精神障がい者、難病患者で「介助は必要ない」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「時々介助が必要」の割合が高くなっています。



【障がい児】

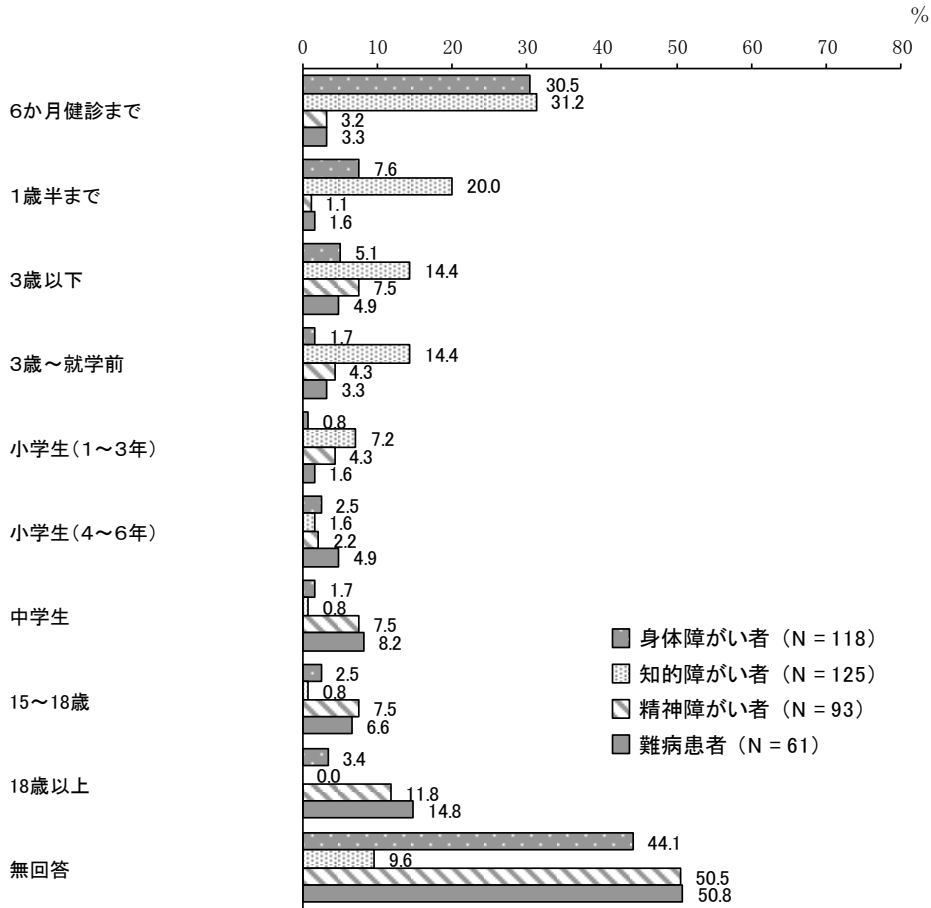
障がい種別で見ると、身体障がい児で「常に関助が必要」の割合が高くなっています。また、知的障がい児、精神障がい児で「時々関助が必要」の割合が高くなっています。



問 ご本人の発達や行動などについて気になり始めたのは何歳のころですか。
(1つに○)

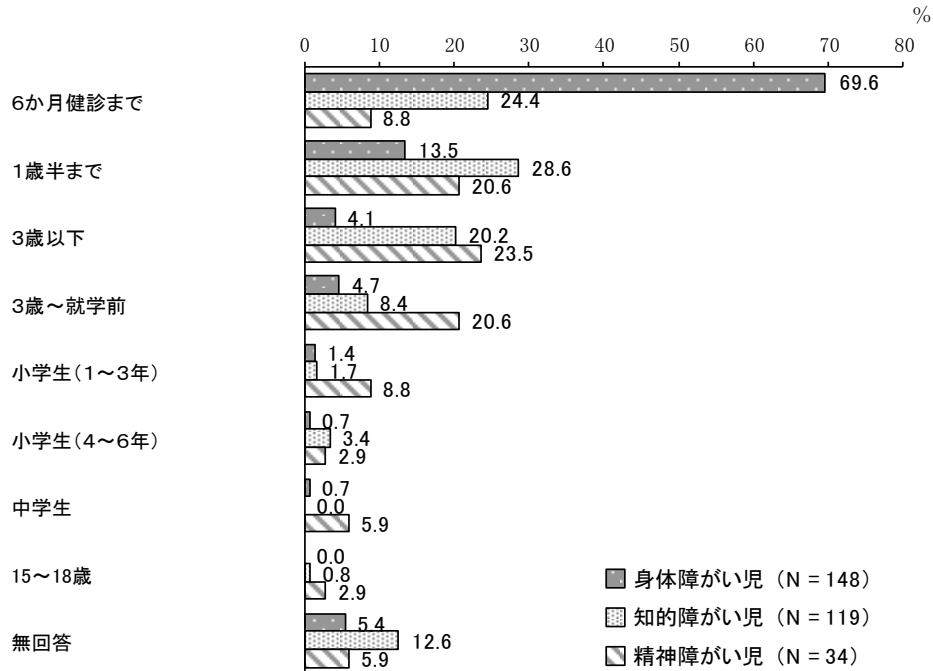
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、知的障がい者で「6か月健診まで」の割合が高くなっています。また、精神障がい者、難病患者で「18歳以上」の割合が高くなっています。



【障がい児】

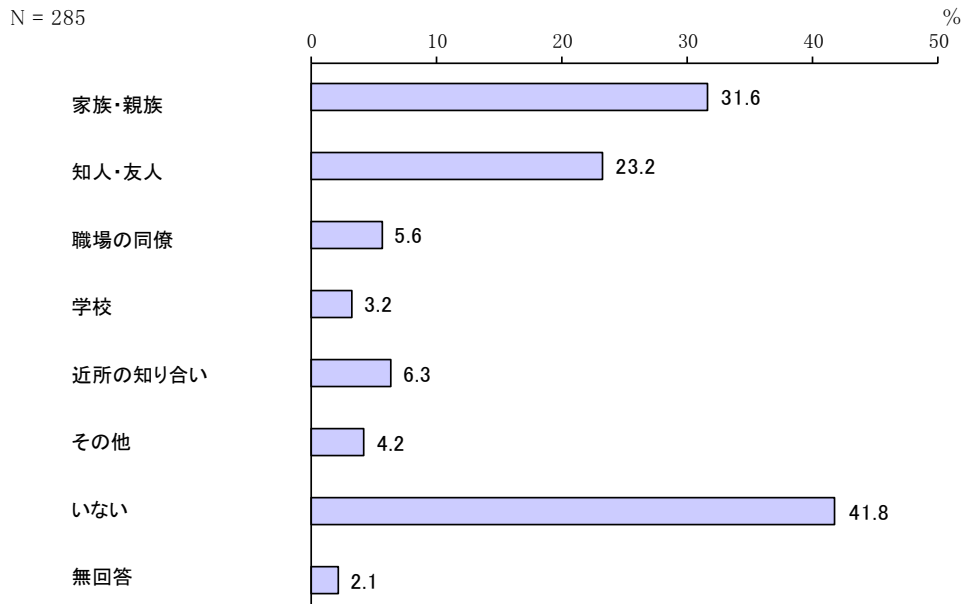
障がい種別で見ると、身体障がい児で「6か月健診まで」の割合が高くなっています。また、知的障がい児で「1歳半まで」の割合が、精神障がい児で「3歳以下」の割合が高くなっています。



問 あなたは、知り合いに障がいのある人はいますか。(〇はいくつでも)

【一般】

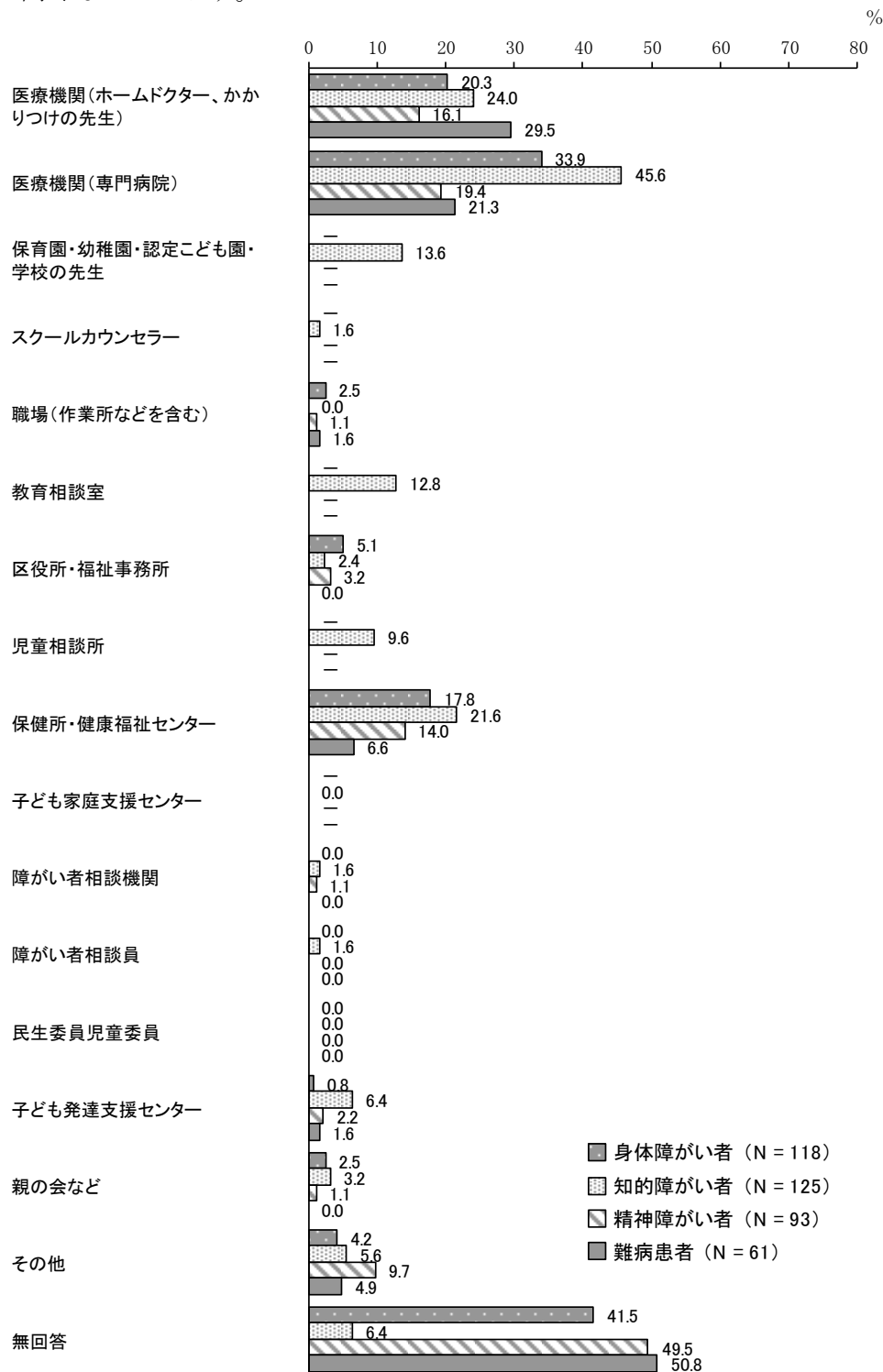
「いない」の割合が41.8%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が31.6%、「知人・友人」の割合が23.2%となっています。



問 家族、知人以外で、気になったことについて最初にどこで（誰に）相談しましたか。（〇は3つまで）

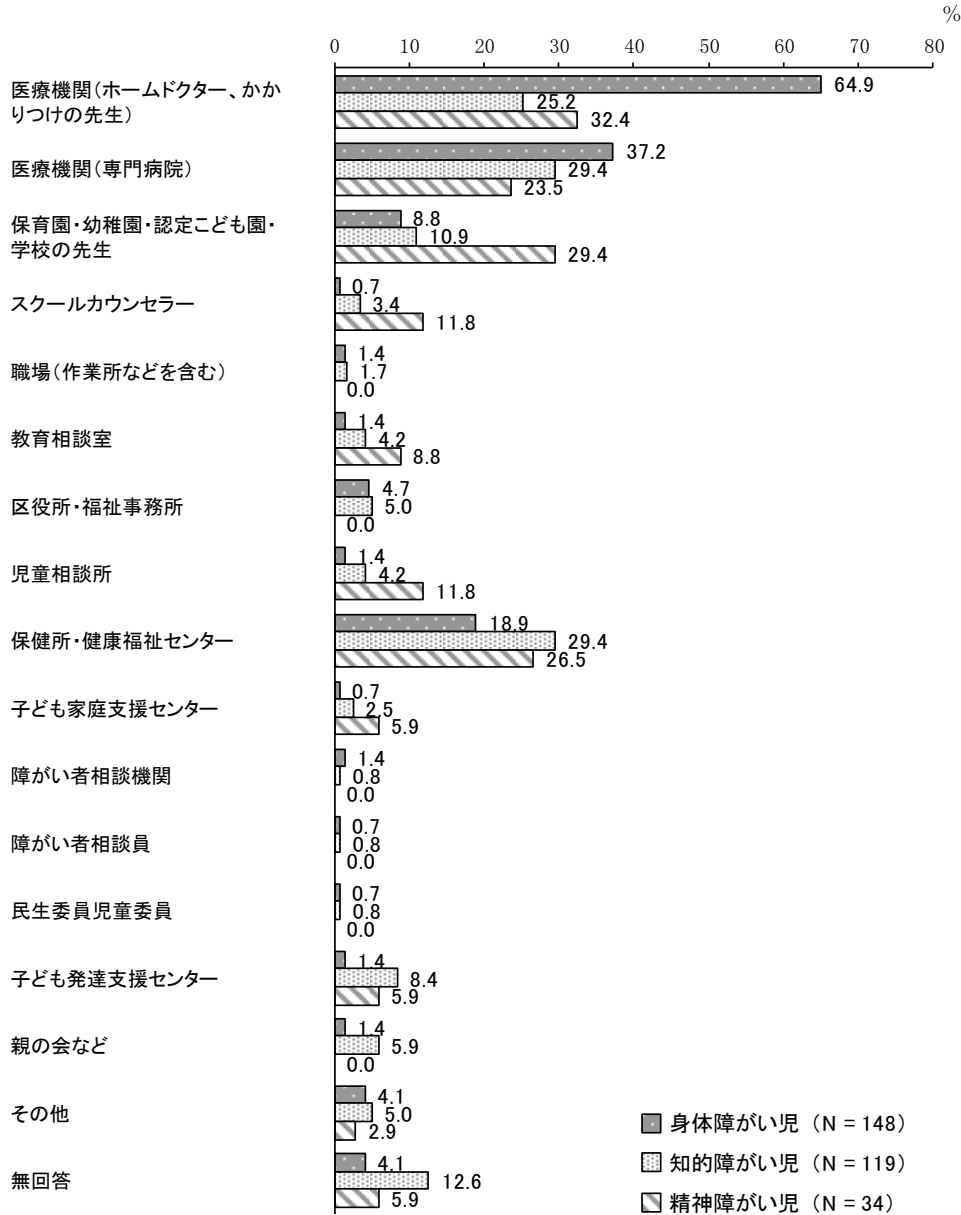
【障がい者】

障がい種別でみると、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者で「医療機関（専門病院）」の割合が高くなっています。また、難病患者で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」の割合が高くなっています。



【障がい児】

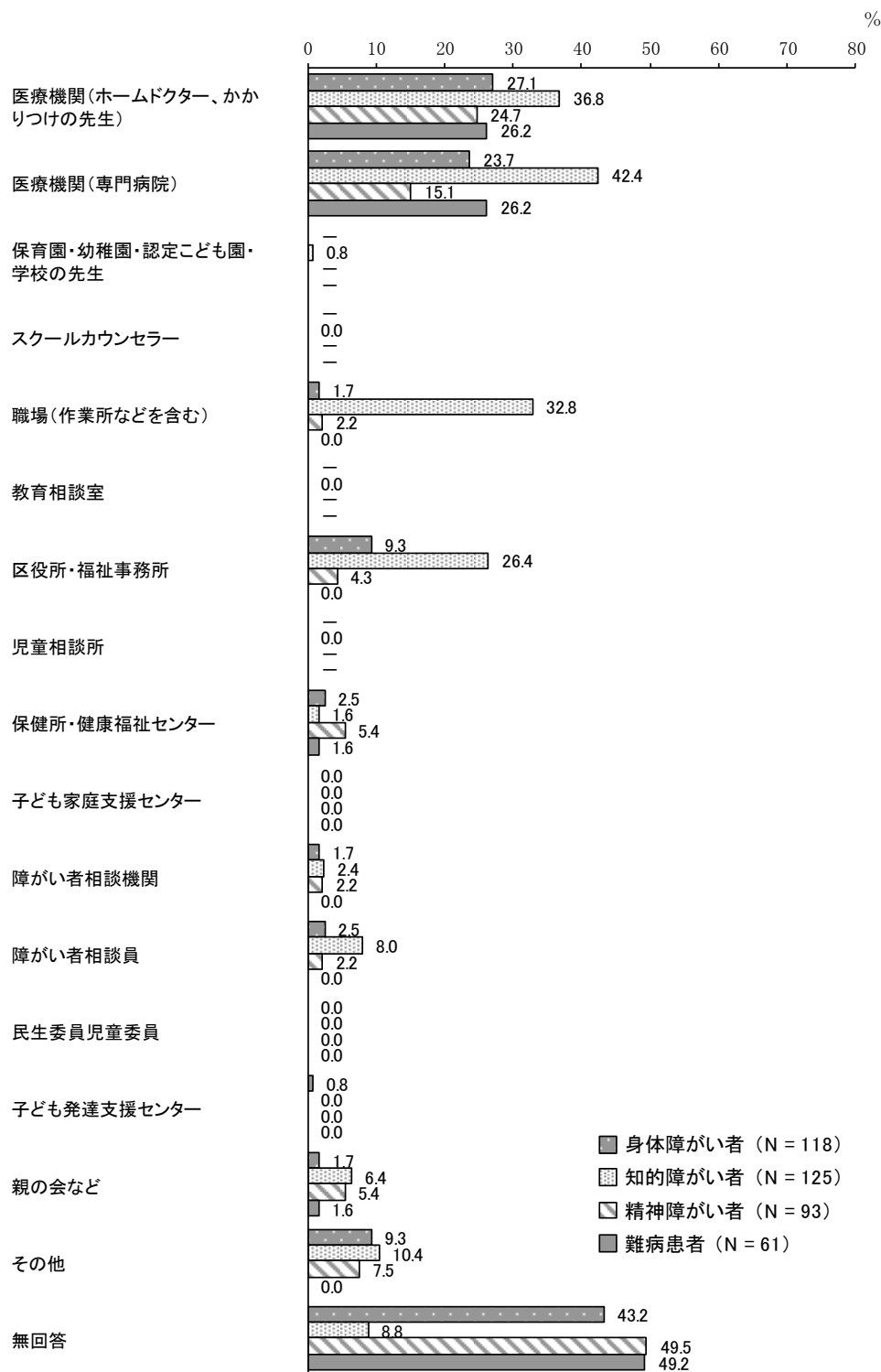
障がい種別で見ると、身体障がい児で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」の割合が高くなっています。また、知的障がい児で「医療機関（専門病院）」「保健所・健康福祉センター」の割合が、精神障がい児で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」「保育園・幼稚園・認定こども園・学校の先生」の割合が高くなっています。



問 今、障がいについて、主にどこで相談していますか。

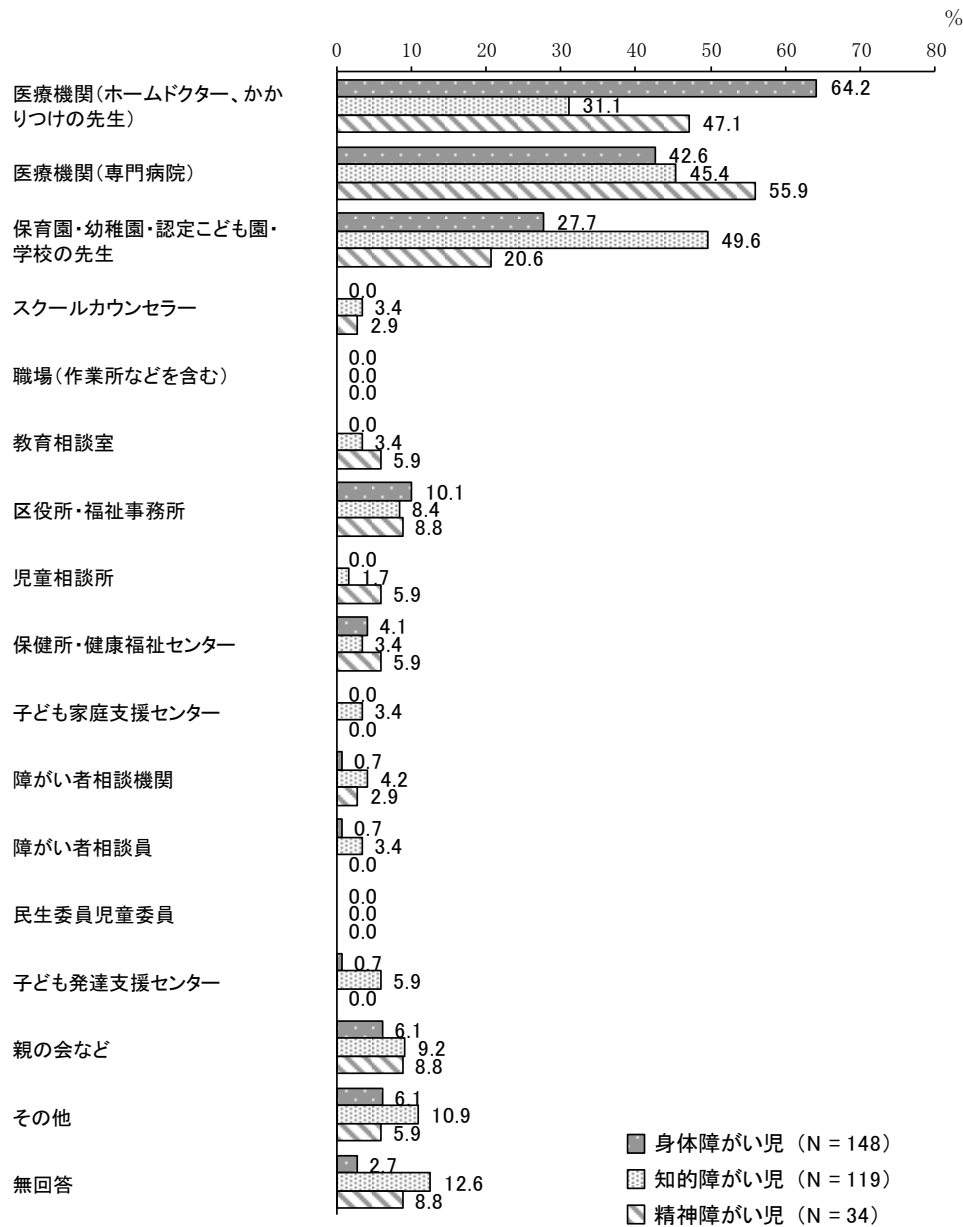
【障がい者】

障がい種別でみると、身体障がい者、精神障がい者で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」の割合が、難病患者で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」「医療機関（専門病院）」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」「医療機関（専門病院）」「職場（作業所などを含む）」「区役所・福祉事務所」の割合が高くなっています。



【障がい児】

障がい種別で見ると、身体障がい児で「医療機関（ホームドクター、かかりつけの先生）」の割合が高くなっています。また、知的障がい児で「保育園・幼稚園・認定こども園・学校の先生」の割合が、精神障がい児で「医療機関（専門病院）」の割合が高くなっています。

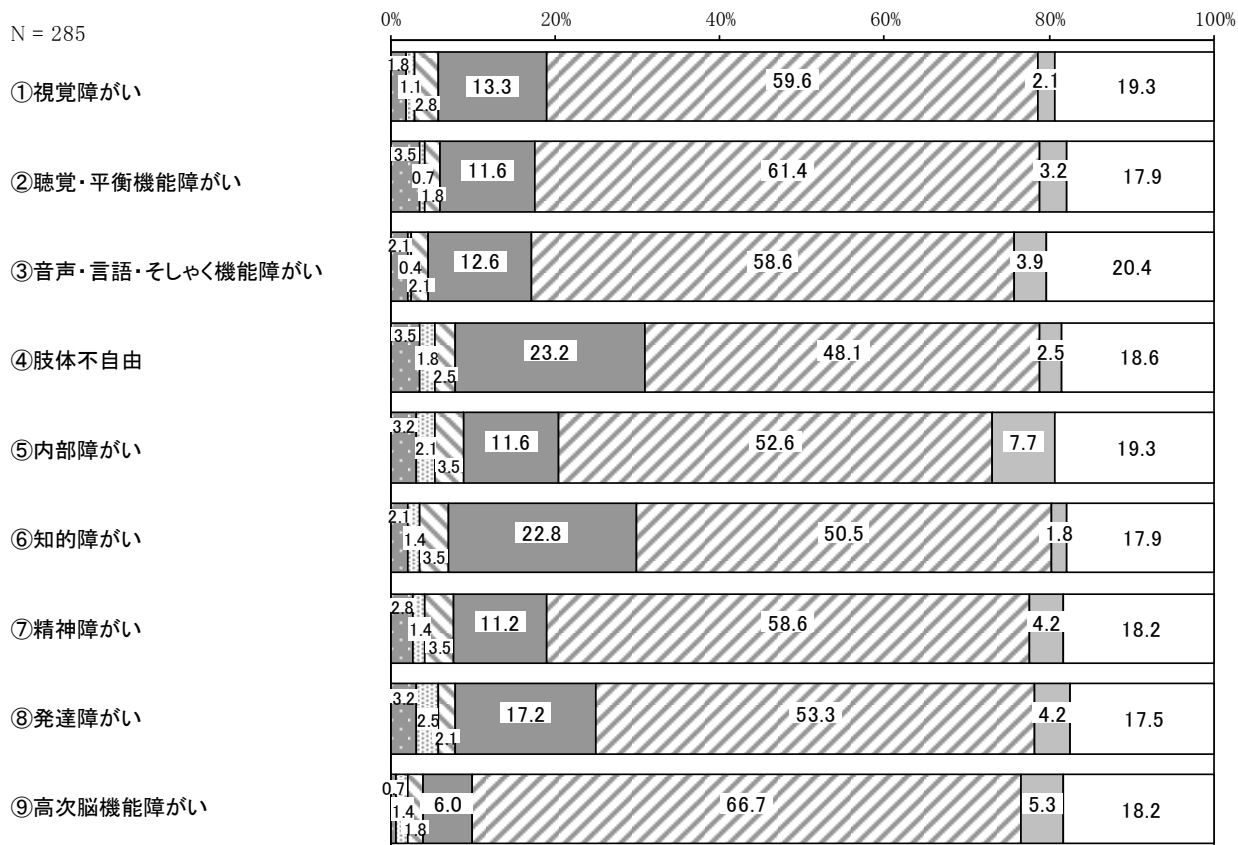


問 あなたは、次の障がいについて、障がいのある人といっしょに活動をした経験をお持ちですか。（それぞれ、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。）

【一般】

④肢体不自由、⑥知的障がい、「過去に何回か経験がある」の割合が、⑨高次脳機能障がい「経験はない」の割合が高くなっています。

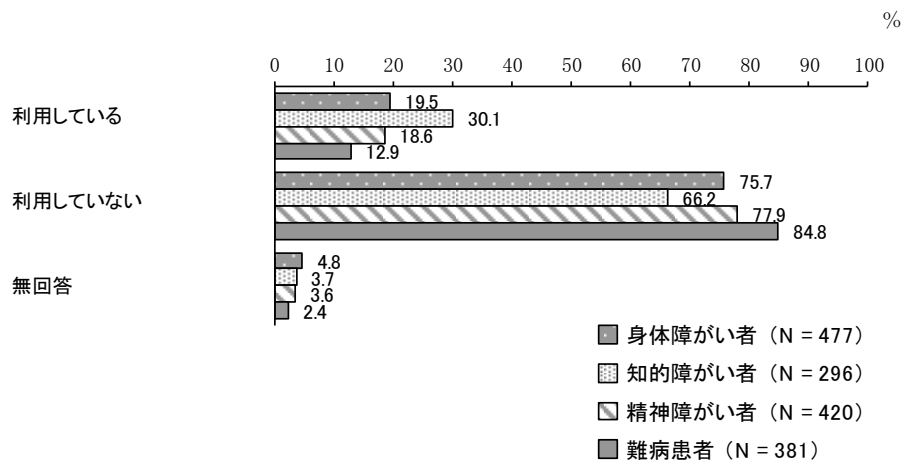
- 今、一緒に活動している
- ▨ 頻繁にある
- ▩ たびたびある
- 過去に何回か経験がある
- ▨ 経験はない
- わからない
- 無回答



問 あなたは、居宅介護などの障がい福祉サービスを利用していますか。(○は1つ)

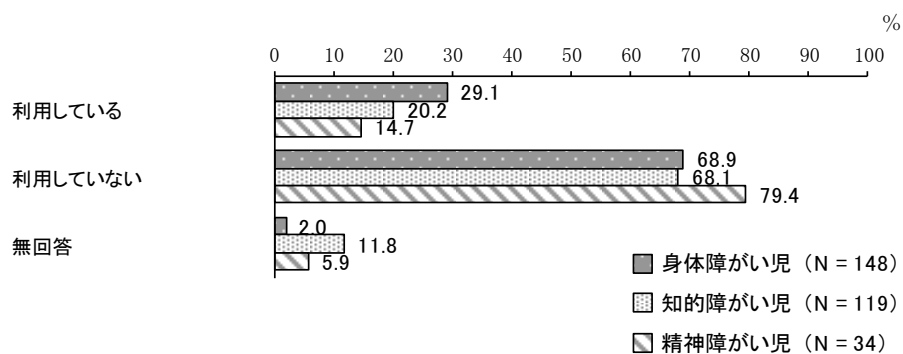
【障がい者】

障がい種別で見ると、知的障がい者で「利用している」の割合が高くなっています。



【障がい児】

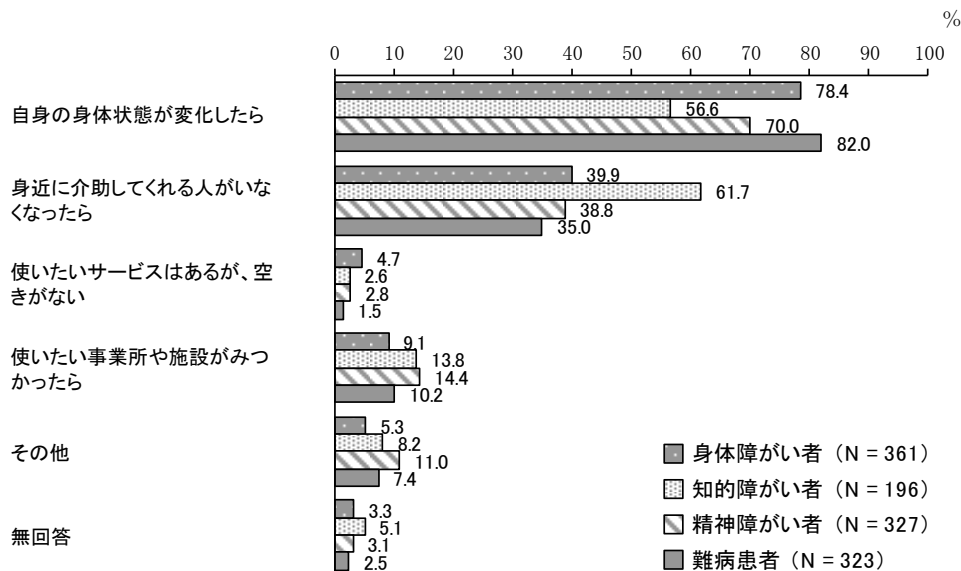
障がい種別で見ると、身体障がい児で「利用している」の割合が高くなっています。



問 次の問は、前問で「2. 利用していない」と答えた方におうかがいします。
 どのような状況になったら障がい福祉サービスの利用が必要になると考えていますか。(〇はいくつでも)

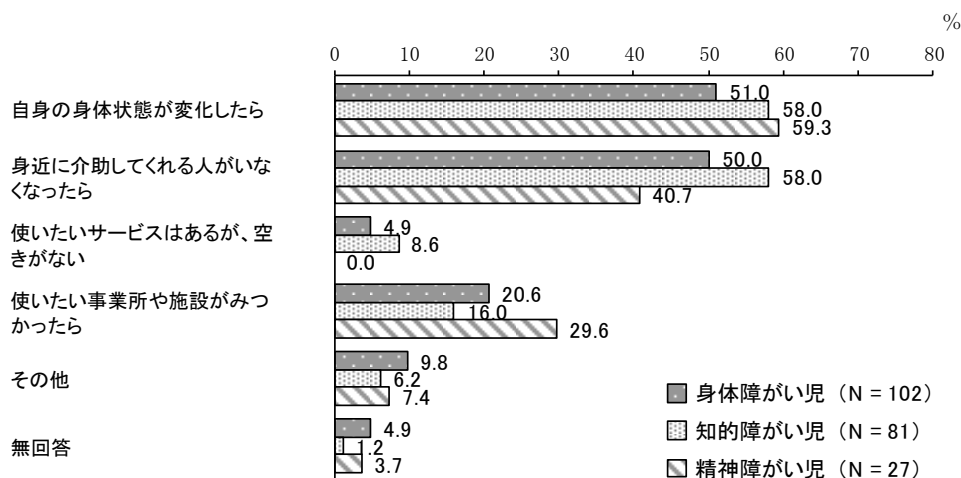
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、精神障がい者、難病患者で「自身の身体状態が変化したら」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「身近に介助してくれる人がいなくなったら」の割合が高くなっています。



【障がい児】

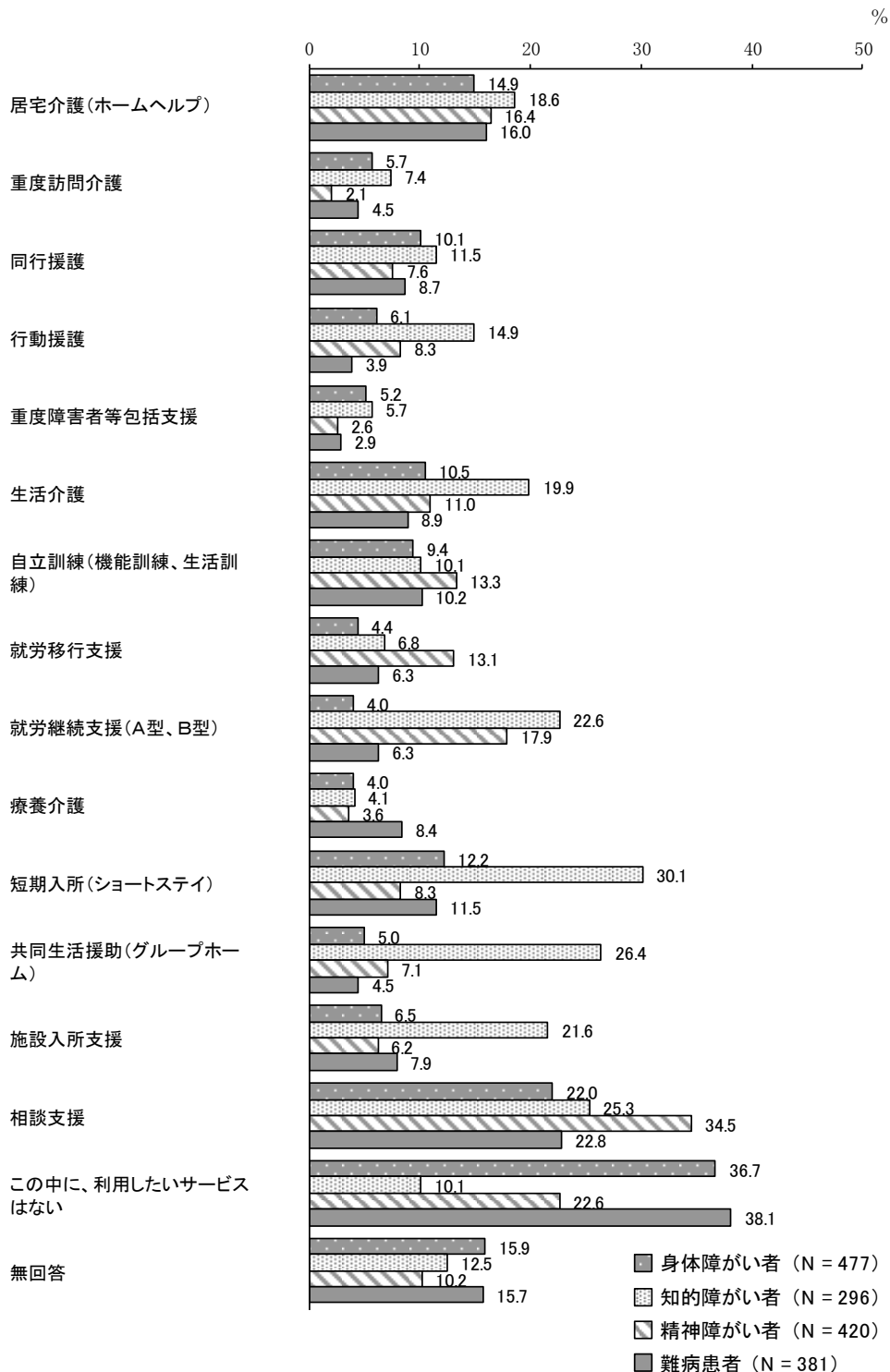
障がい種別で見ると、身体障がい児、知的障がい児で「自身の身体状態が変化したら」「身近に介助してくれる人がいなくなったら」の割合が高くなっています。また、精神障がい児で「自身の身体状態が変化したら」「使いたい事業所や施設がみつかったら」の割合が高くなっています。



問 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

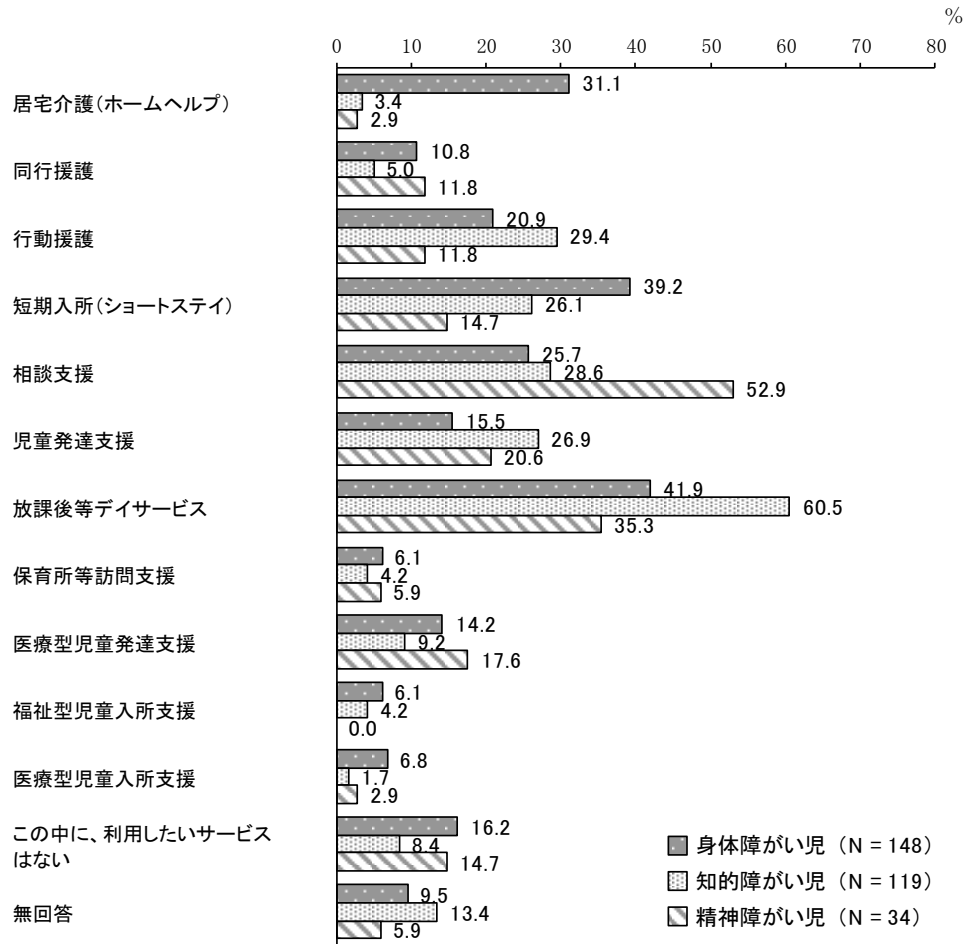
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、難病患者で「この中に、利用したいサービスはない」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「行動援護」「生活介護」「就労継続支援（A型、B型）」「短期入所（ショートステイ）」「共同生活援助（グループホーム）」「施設入所支援」の割合が、精神障がい者で「相談支援」の割合が高くなっています。



【障がい児】

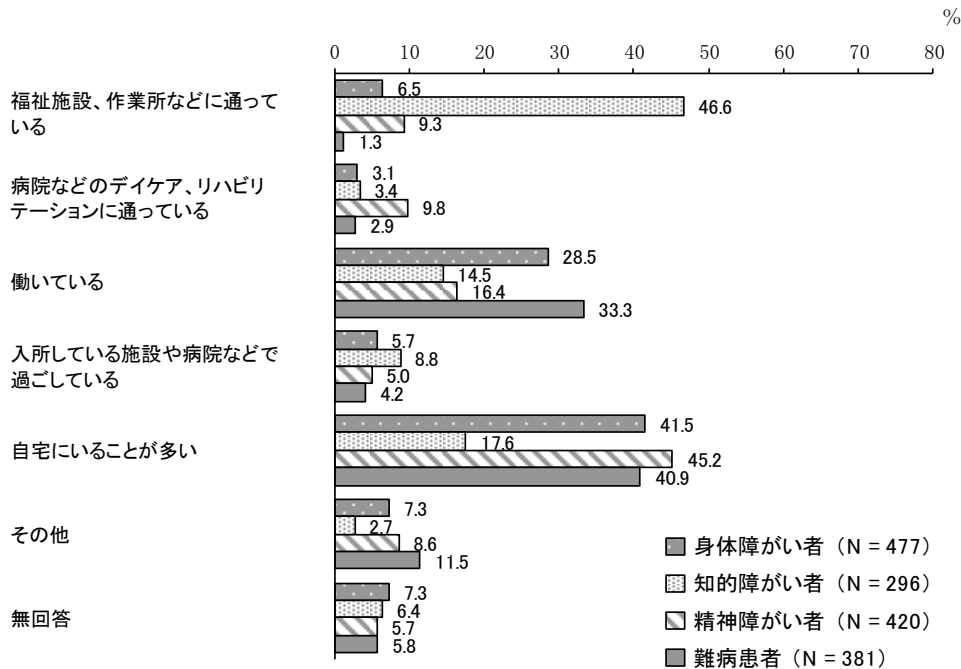
障がい種別で見ると、身体障がい児で「居宅介護（ホームヘルプ）」「短期入所（ショートステイ）」の割合が高くなっています。また、知的障がい児で「放課後等デイサービス」の割合が、精神障がい児で「相談支援」の割合が高くなっています。



問 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

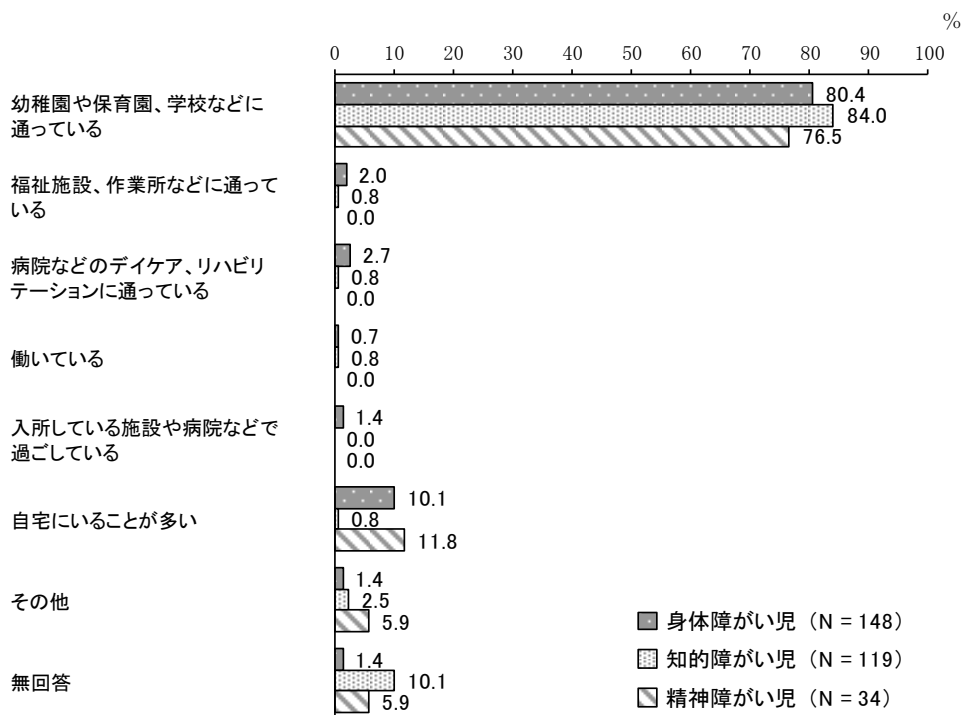
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、精神障がい者、難病患者で「自宅にすることが多い」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「福祉施設、作業所などに通っている」の割合が高くなっています。



【障がい児】

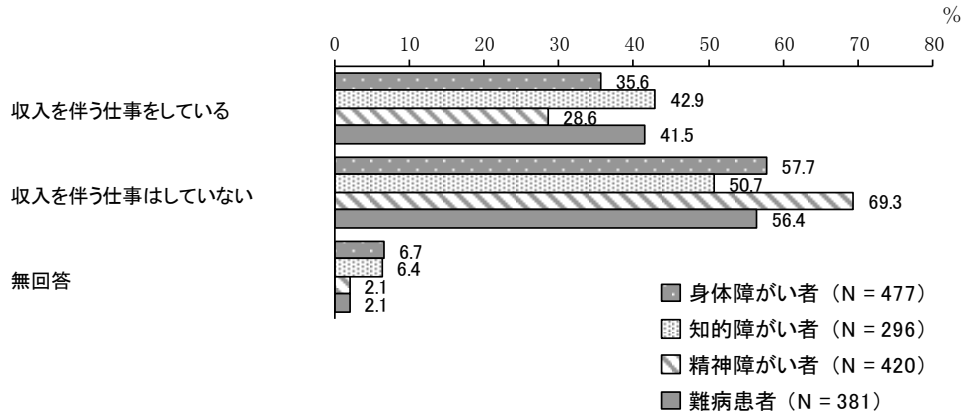
障がい種別で見ると、すべての障がい児で「幼稚園や保育園、学校などに通っている」の割合が高くなっています。



問 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(〇は1つ)

【障がい者】

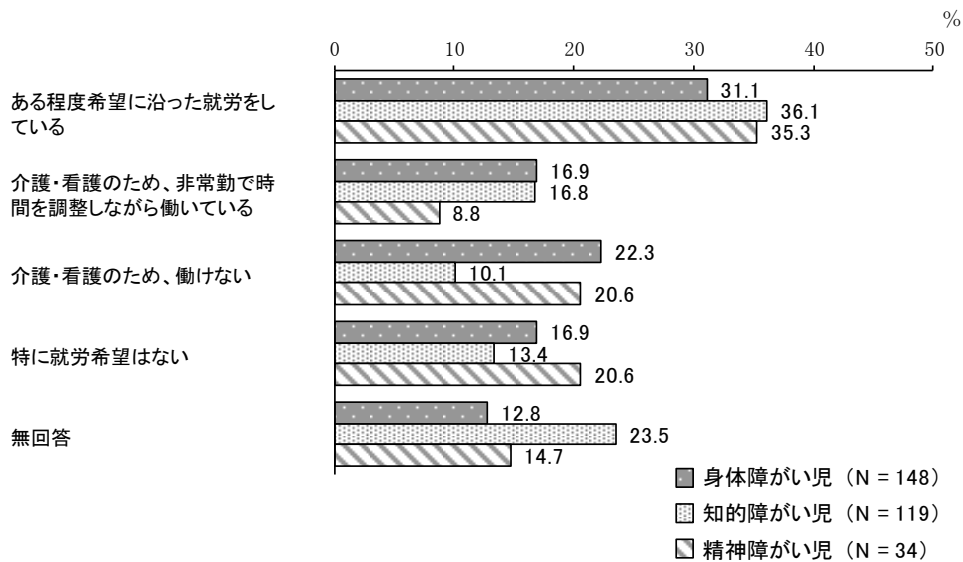
障がい種別でみると、知的障がい者、難病患者で「収入を伴う仕事をしている」の割合が高くなっています。



問 (保護者に) 現在の就労状況をお答えください。(1つに〇)

【障がい児】

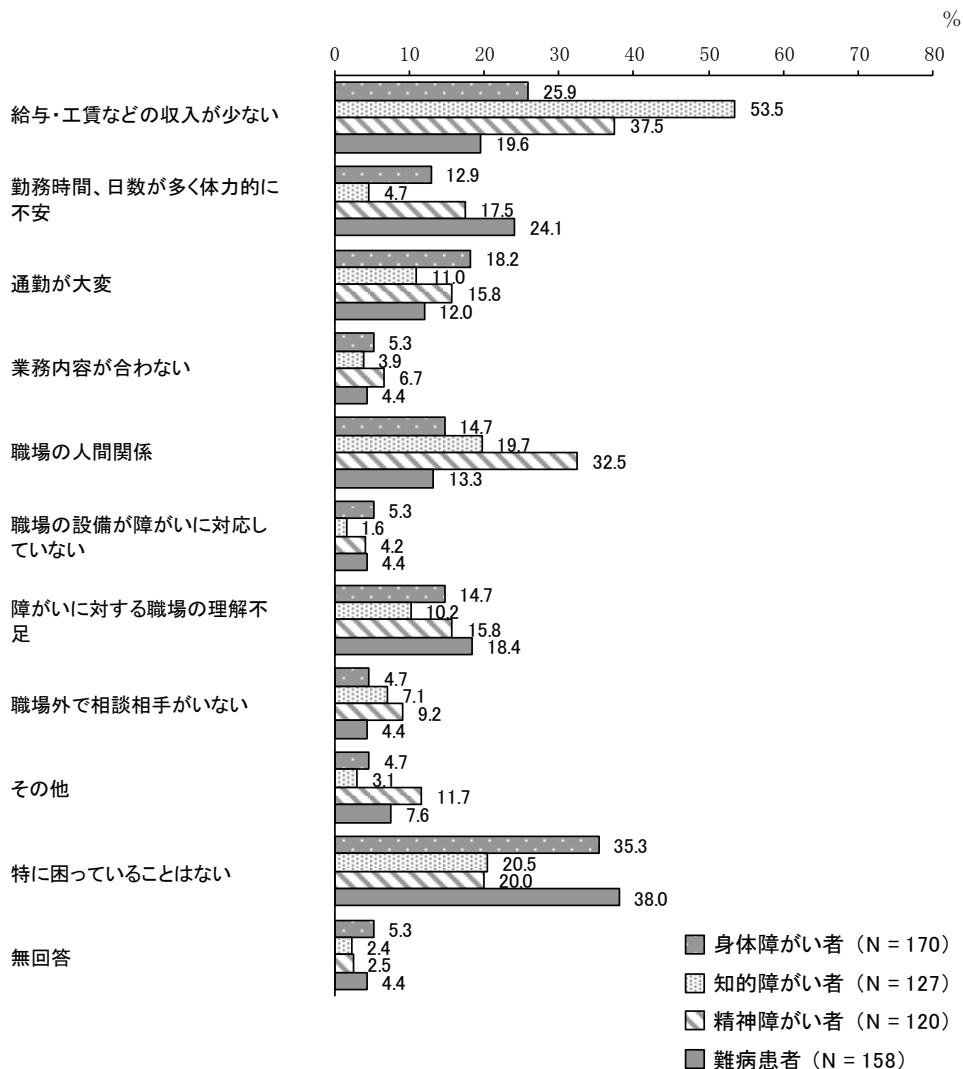
障がい児の保護者で「ある程度希望に沿った就労をしている」人はいますが、



問 仕事をする上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

【障がい者】

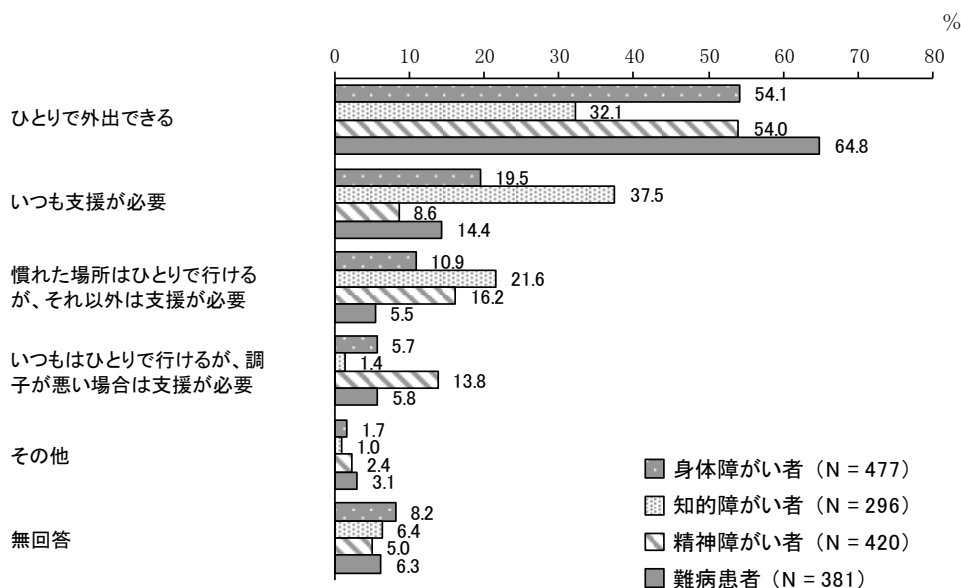
障がい種別でみると、身体障がい者、難病患者で「特に困っていることはない」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「給与・工賃などの収入が少ない」の割合が、精神障がい者で「職場の人間関係」の割合が高くなっています。



問 あなたは、外出するときには支援が必要ですか。(○は1つ)

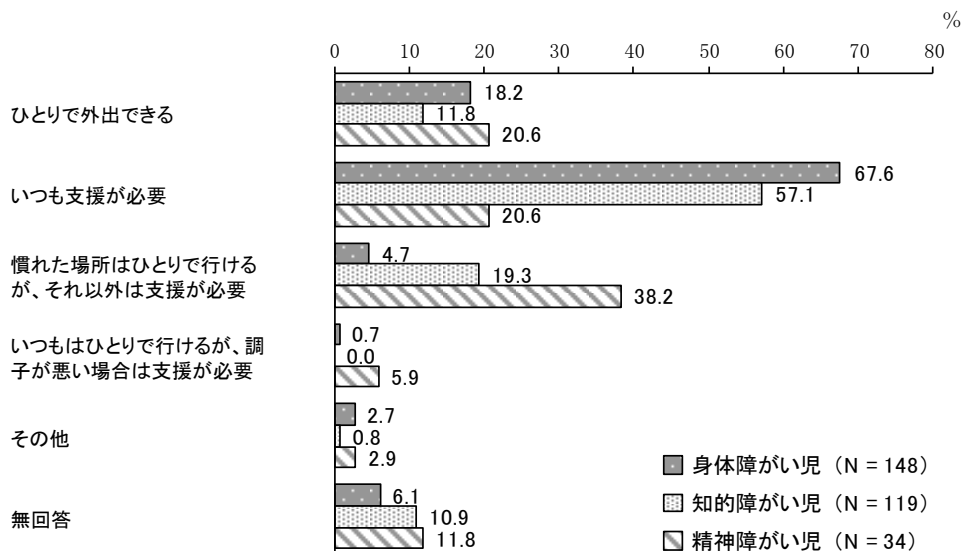
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、精神障がい者、難病患者で「ひとりで外出できる」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「いつも支援が必要」の割合が高くなっています。



【障がい児】

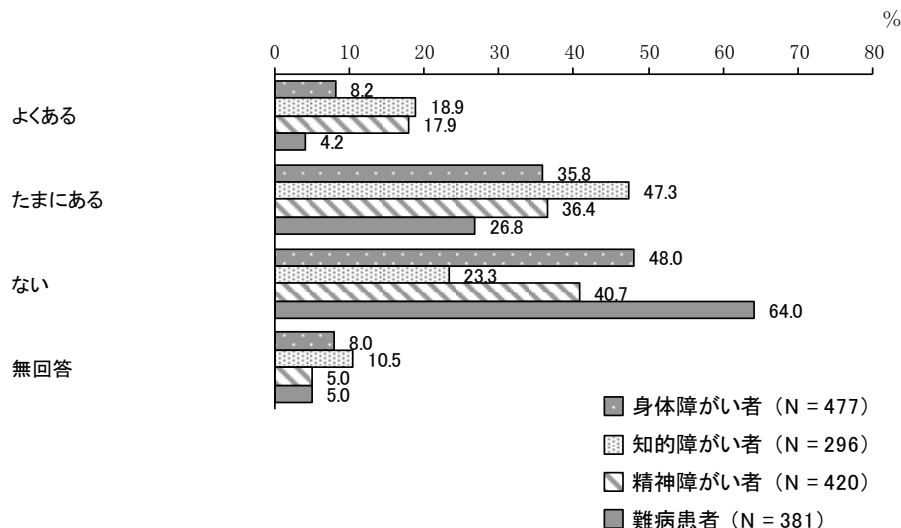
障がい種別で見ると、身体障がい児、知的障がい児で「いつも支援が必要」の割合が高くなっています。また、精神障がい児で「慣れた場所はひとりで行けるが、それ以外は支援が必要」の割合が高くなっています。



問 障がいがあることで、差別を感じたり、嫌な思いをしたことがありますか。
(○は1つ)

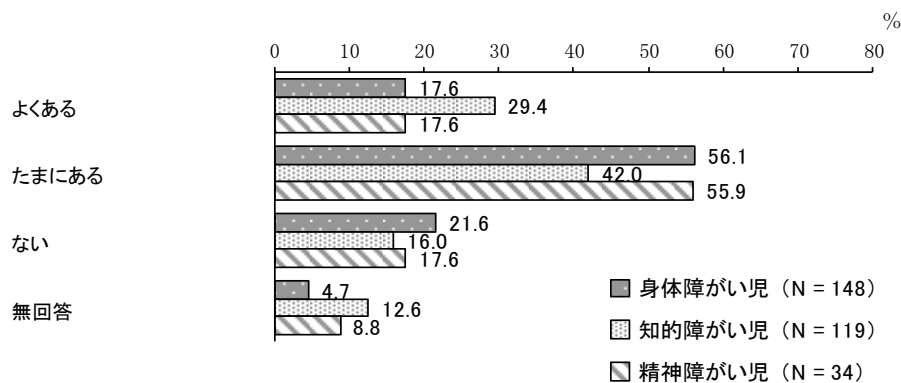
【障がい者】

障がい種別で見ると、身体障がい者、精神障がい者、難病患者で「ない」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「たまにある」の割合が高くなっています。



【障がい児】

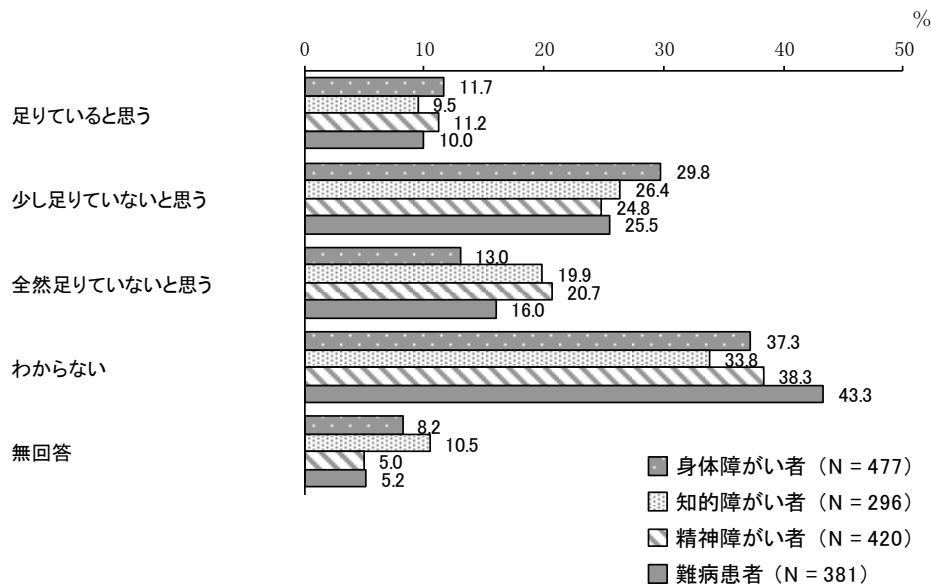
障がい種別で見ると、身体障がい児、精神障がい児で「たまにある」の割合が高くなっています。また、知的障がい児で「よくある」の割合が高くなっています。



問 あなたは、区民の、障がいのある人への対応や理解が足りていると思いますか。
(○は1つ)

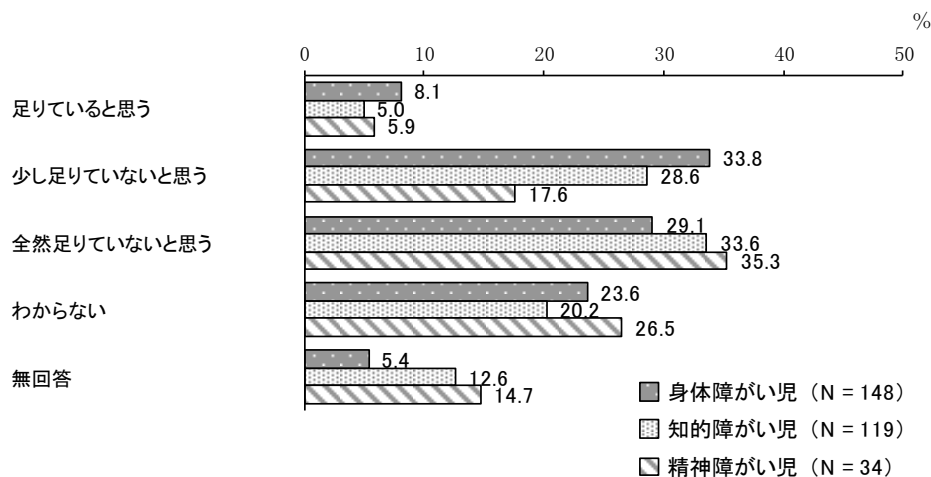
【障がい者】

障がい種別でみると、すべての障がい者で「少し足りていないと思う」の割合が高くなっています。



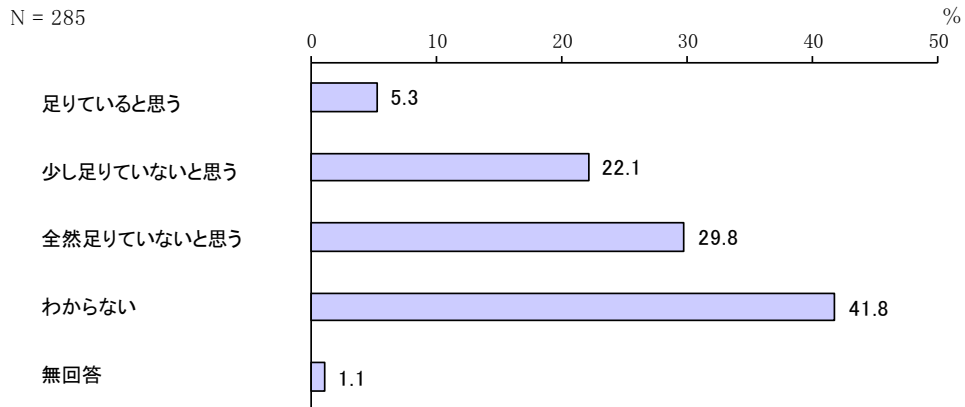
【障がい児】

障がい種別でみると、身体障がい児で「少し足りていないと思う」の割合が高くなっています。また、知的障がい児、精神障がい児で「全然足りていないと思う」の割合が高くなっています。



【一般】

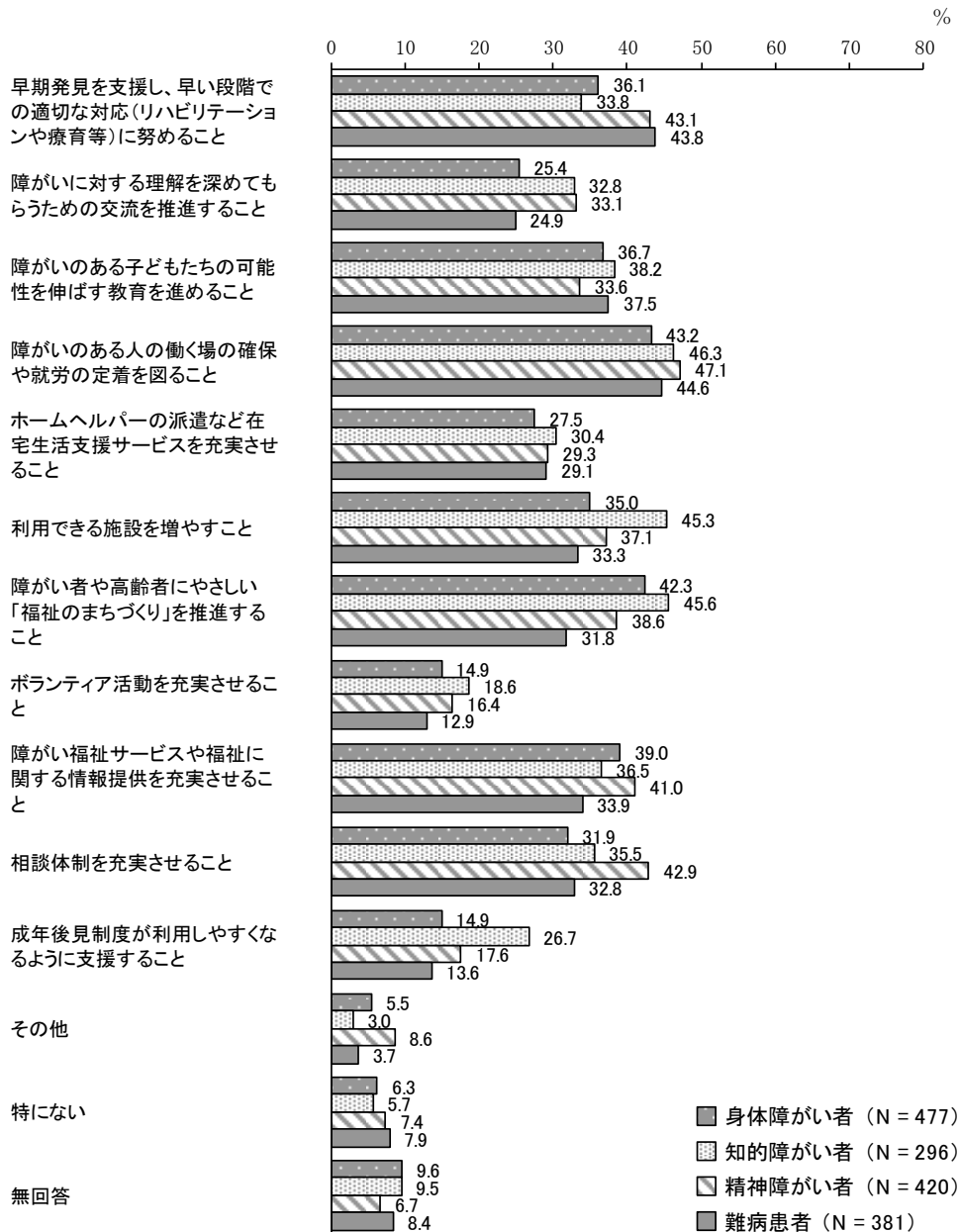
「わからない」の割合が41.8%と最も高く、次いで「全然足りていないと思う」の割合が29.8%、「少し足りていないと思う」の割合が22.1%となっています。



問 今後、障がい者施策を進めていくにあたって、区は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

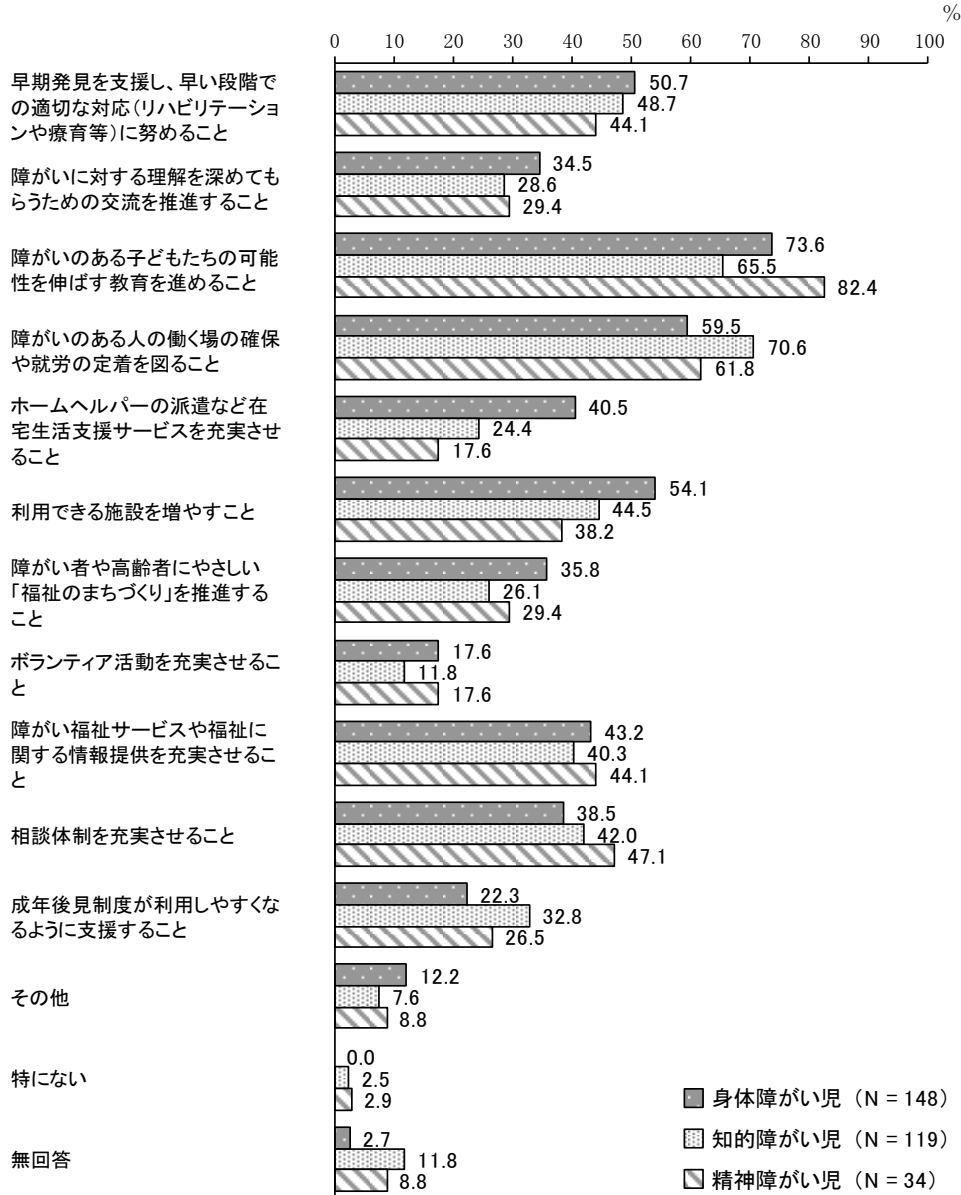
【障がい者】

障がい種別でみると、すべての障がいで「障がいのある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」の割合が高くなっています。また、知的障がい者で「利用できる施設を増やすこと」の割合が、精神障がい者で「相談体制を充実させること」の割合が高くなっています。



【障がい児】

障がい種別でみると、身体障がい児、精神障がい児で「障がいのある子どもたちの可能性を伸ばす教育を進めること」の割合が高くなっています。また、知的障がい児で「障がいのある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」の割合が高くなっています。



【一般】

「障がいのある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「障がいのある子どもたちの可能性を伸ばす教育を進めること」の割合が 55.1%、「障がい者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」の割合が 41.8%となっています。

